

報告事項

(昨年の議事及び漁場整備実施状況について)

1 昨年度の検討会での議事

- (1) 令和2年度新規漁場及び新規着工区等の構造物について
魚礁ブロック

漁場		検討ブロック
①-1	石狩湾周辺地区 遠別沖合漁場	FP3.00型
①-2	北海道南西部地区 二ノ目沖合漁場	FP3.00型
①-3	北海道南西部地区 江差泊漁場	ピラミッド P200AⅢ 3.0円筒型
①-4	北海道太平洋西部地区 厚賀漁場	3.0円筒型
①-5	北海道津軽海峡地区 函館湯浜漁場	ピラミッド P200AⅢ FP3.00型

増殖ブロック

漁場		検討ブロック
②-1	北海道津軽海峡地区 戸井下海岸漁場	アルガーリーフ ARW6-3F(SS)
②-2	北海道津軽海峡地区 恵山尻岸内漁場	アルガーリーフ ARW6-3F(SS)
②-3	噴火湾周辺地区 山越落部漁場	アルガーリーフ ARW6-3F(SS)

- (2) 参考意見

- ・ 漁場整備は既存施設、産卵場、生育場を確保しながら魚礁事業を一体的に整備するというやり方が重要で、施設整備後に効果調査を実施し地区全体としての効果を把握しながら今後の事業に向け検討されたい。
- ・ 魚礁事業検討の際は環境の影響による対象種の変化などに対応し、効果調査等を継続実施していくうえで適切な構造物を選定し事業を進めていくことが重要。
- ・ 魚礁施設内にある構造物が設置されない空白領域は、天然礁に見られない環境が形成されている可能性があるため、未知の効果も考えられ今後の調査を検討されたい。
- ・ 藻場造成の際は、ウニの食害をどれだけ防止できるかがポイントとなる。
ソフト対策を含め事前に十分な検討が必要。

2 令和2年度漁場整備実施状況

令和元年度検討会では、5地区8漁場について使用構造物を検討し、業務の参考となる意見をいただきました。

令和2年度事業では、各漁場とも検討会にて検討された構造物を選定し、事業を実施しています。